

「県立学校改革推進プラン」再編対象校に係る成果と課題（市原地区の県立高校について）

1 第3次実施プログラムの概要（平成28年3月策定）

対象高校	実施年度	設置学科	備 考	成果と課題（○成果、●課題）
市原八幡	31年度	普通科	・防災の学びを導入	<p>○生徒は自らの身だけでなく、他人の身も守る方法を身に付けられています。</p> <p>○学校独自の教材と教育体制を整備しています。</p> <p>○日常生活における生徒の防災意識を高めることができたと同時に、教員の防災教育への意識を高めることができました。</p> <p>●理科や地理、家庭科、保健体育などといった教科との連携が上手くいけば、より充実した教育ができると考えられますが、現状は連携ができていません。</p> <p>●コロナ禍の影響により、2年間の計画どおりに進めることができた学年がまだありません。また、中学校や外部団体との連携も不十分でした。</p>
市原 鶴舞桜が丘 (統合)	31年度	普通科 園芸科	<p>・鶴舞桜が丘高校のグリーンキャンパスは実習場として使用</p> <p>・校名については今後検討</p> <p>・商業に関するコースを設置</p> <p>・福祉コース、緑地管理コースを引き続き設置</p>	<p>○生徒が増えたことで、学習に対する競争意識や資格取得に対する意欲が高まりました。また、生徒会活動が活発になり、学校行事も文化祭を中心に生徒主体の取組ができるようになりました。</p> <p>○多様な学びを展開できるようになったことから、地域や関係機関などとの連携が一層活発になりました。</p> <p>○生徒の高校生活全般について、様々な方針を決めていったことで、わかる授業の実践、個々の生徒の実態を踏まえた根気強い生徒指導、ミスマッチの無い進路指導などに、職員一丸となって取り組めるようになりました。</p> <p>○個々の生徒に応じた適切な指導などから、生徒・保護者の学校に対する評価が概ね8割となっています。</p> <p><令和3年度学校評価の肯定的評価の割合（ ）は令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の満足度 生徒：75%(76%)、保護者：76%(80%) ・生活指導の満足度 生徒：82%(82%)、保護者：81%(84%) ・入学しての満足度 生徒：77%(77%)、保護者：84%(90%) <p>●積極的にホームページの更新を行い、学校での活動を発信していますが、保護者などには十分に伝わっておらず、ホームページを見てもらうための工夫が必要です。</p>

2 第4次実施プログラムの概要（平成30年3月策定）

対象高校	実施年度	設置学科	備考	成果と課題（○成果、●課題）
姉崎	R2年度	普通科	・ものづくりコースを設置	<ul style="list-style-type: none"> ○コース選択者の中には、姉崎高校にもものづくりコースがあるから入学したと回答した生徒もおり、高い目的意識を持った生徒が入学しています。 ○授業内容、生活指導、先生方とのコミュニケーション等、生徒、保護者の満足度がとても高くなっています。 ○地元市原市の企業との出前授業や職員との意見交換などを通して地域との交流を深めることができ、授業等について協力体制を得られました。 ○中学校から、「キャリア教育として、将来の就職に大いに役立つ」など、期待する声が多いです。 ●ものづくりコースの活動の様子や成果など、もっと広報活動に力を入れた方が良いという意見もありました。 ●施設や設備が十分に整っていないため、工業高校であればできる授業を展開することができないことがあります。